

こどもエコすまい支援事業&住宅ローン減税

2023年3月31日から申請開始～予算上限に達するまで(遅くとも2023年12月末まで)



2023年3月31日から始まった『こどもエコすまい支援事業』と、2025年まで延長された『住宅ローン控除』。省エネ性の高いお家にする事で、支援金や税金の控除を受けることができます。



1
POINT

住宅取得に使える国の支援策 補助金額 100万円

こどもエコすまい支援事業

エネルギー価格高騰の影響を受けやすい子育て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能(ZEHレベル基準)を有する新築住宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して支援する事業です。

※住宅の延べ床面積 50㎡以上、土砂災害特別区域等を除くなどその他の条件あり

子育て世代とは		若者夫婦世帯とは	
交付申請時点(予約を行う場合は、予約提出時点)において平成16(2004)年4月2日以降に出生した子を有する世帯 ※令和5(2023)年3月31日までに建築着工するものについては平成15(2003)年4月2日以降に出生した子を有する世帯		交付申請時点(予約を行う場合は、予約提出時点)において夫婦であり、いずれかが昭和57年(1982)年4月2日以降の出生である世帯 ※令和5(2023)年3月31日までに建築着工するものについては昭和56(1981)年4月2日以降の出生である世帯	
主な要件	ZEH住宅(強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%に適合するもの)	ここ! MJ基準	補助額 100万円/戸
リフォーム	①住宅の省エネ改修 ②住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能設置工事など ①の工事を行った場合に限り		補助額 上限30万円/戸 リフォーム工事内容に応じて定める額

交付申請期限 2023年3月31日から申請開始～予算上限に達するまで(遅くとも2023年12月末まで)

2
POINT

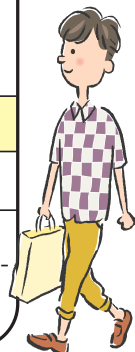
住宅取得後に使える税金の控除 減税最大 31.5万円

住宅ローン減税制度

住宅ローン減税とは、ローンを借りて住宅を取得すると、年末のローン残高の0.7%相当額が所得税・住民税から一定期間控除される制度です。年間の合計所得2,000万円以下の場合に利用できます。 ※実際に控除される金額は、年収、個人の借り入れ金利や扶養人数などにより異なります。

省エネ性能の区分	入居年			
	2023(R5)年		2024(R6)年	2025(R7)年
控除期間	13年		13年	
長期優良住宅 低炭素住宅	住宅ローン残高の上限 5,000万円	一年間の控除上限額 35万円	住宅ローン残高の上限 4,500万円	一年間の控除上限額 31.5万円
ZEH水準省エネ住宅	4,500万円	31.5万円	3,500万円	24.5万円
省エネ基準適合住宅	4,000万円	28万円	3,000万円	21万円
その他の住宅	3,000万円	21万円	0円	
2023年末までに新築の建築確認が下りた場合			「その他の住宅」は2024年以降の入居の場合10年間 2,000万円 14万円	

※借入金の償還期間が10年以上であること、合計所得金額が2,000万円以下、床面積や築年数等で一部制限があります。



住宅ローン(フラット 35S)金利

【フラット 35】とは、「全期間固定金利」で返済することができる住宅ローンです。

省エネルギー性能の優れた住宅を取得すると、一定期間金利が引き下げられる【フラット 35】S が利用できます。【フラット 35】S の金利引下げ控除は 2 パターンあります。

金利引下げメニュー	新築住宅の場合の技術基準	金利引下げ期間	【フラット 35】からの金利引下げ幅
【フラット 35】S (金利 A プラン)	下記の(1)から(5)までのうち、いずれか1つ以上の基準を満たす住宅であること。 (1)断熱等性能等級5以上の住宅で、かつ、一次エネルギー消費量等級6の住宅 (2)耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)3の住宅 (3)免震建築物 (4)高齢者等配慮対策等級4以上の住宅 (5)長期優良住宅	当初10年間	年 ▲ 0.25%
【フラット 35】S (金利 B プラン)	下記の(1)から(5)までのうち、いずれか1つ以上の基準を満たす住宅であること。 (1)断熱等性能等級4の住宅で、かつ、一次エネルギー消費量等級6の住宅 (2)断熱等性能等級5以上の住宅で、かつ、一次エネルギー消費量等級4または等級5の住宅 (2)耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2以上の住宅 (4)高齢者等配慮対策等級3以上の住宅 (5)劣化対策等級3の住宅で、かつ、維持管理対策等級2以上の住宅	当初5年間	



ここ!
MJ基準



MJのお家は10年の金利優遇を受けられる金利Aプランが選べます

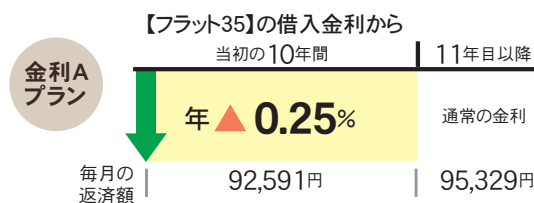
試算をしてみると…金利 A プランはこんなにお得!

試算

借入額 3,000 万円 (融資率 9 割以下)、借入期間 35 年、元利均等返済、ボーナス返済なし、借入金利年 1.80% の場合

【フラット 35】と(金利 A プラン)との差額

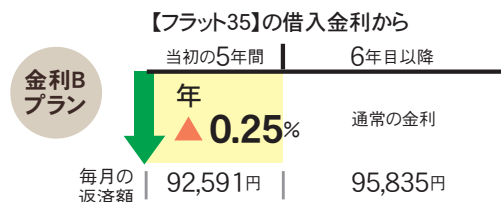
金利 A プランの返済総額約 **3,970 万円**



【フラット 35】との総返済額の差約 ▲ **74.7 万円**

(金利 A プラン)と(金利 B プラン)との差額

金利 B プランの返済総額約 **4,005 万円**



【金利 A プラン】との総返済額の差 + 約 **35 万円**

省エネ性の高いお家にする事でさまざまなメリットが!



2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画により、2025年度以降は住宅を含む全ての新築の建物が断熱材の厚さや、窓の構造などの基準を満たすことが求められるようになりました。また2030年には義務化の基準が『ZEH水準省エネ住宅』レベルへ上げられる予定であり、建築物分野での省エネ対策が加速しています。



各認定や支援の表示等級・認定条件

認定条件	「MJ HOUSE」の仕様の標準等級	長期優良住宅の認定条件	ZEH水準	フラット35 (省エネ基準)	フラット35S (金利Aプラン)	フラット35S (金利Bプラン)	子どもエコすまい支援事業	住宅ローン減税制度
断熱等性能等級	5 MJ基準	5	5	4	5	4 5	ZEHレベル基準	長期優良住宅 ZEH水準省エネ住宅 省エネ基準適合住宅
一次エネルギー等級	6	6	6	4	6	6 4以上		

※長期優良住宅の認定取得には別途条件があります。

「MJ HOUSE」の仕様の標準等級
断熱等性能等級 5
一次エネルギー等級 6



MJ HOUSEのお家は
認定条件をクリア

当社でご用意している4つの仕様は、どの仕様を選んでも『ZEH水準省エネ住宅』の基準を満たします。

国が定める省エネ基準をクリアする断熱材

MJHOUSEの仕様	断熱材	窓
坪単価@45万 45	高性能グラスウール 16K 壁・屋根(天井)に厚さ100mmのものを使用。	全仕様共通 45 48 54 62 アルミ樹脂複合サッシ + Low-E 複層ガラス 断熱性能に優れた樹脂と、劣化に強いアルミを融合させた新しい構造の窓サッシ。さらに複層ガラスの間の中間層で、断熱効果を高めめます。
坪単価@48万 48	サーモウール スタンダードF 壁・屋根(天井)に厚さ105mmのものを使用。	
坪単価@54万&62万 54 62	セルローズファイバー断熱材 壁厚さ100mm・屋根(天井)に厚さ185mmのものを使用。	

house to
enjoy life



当社のお家は お客様に国からの支援を受けてもらえるようしっかりエコ住宅の基準をクリアしています！
安心してお家造りに取り組んでいただけます♪

お気軽にスタッフへお尋ねください！

ECO

